

## 第2章 環境保全施策の推進

「環境基本計画」に掲げた3つの基本目標の達成に向けて、2015（平成27）年度に実施した主な環境保全施策の内容について報告します。

### 基本目標1 良好な生活環境を守りはぐくむ

#### 1-1 きれいな空気と水辺のあるまちで暮らす（本編P.10～19）

##### 【2015（平成27）年度の成果】

- 目黒区では、東山中学校に大気汚染測定室を設け、浮遊粒子状物質（SPM）、微小粒子状物質（PM2.5）、二酸化窒素及び光化学オキシダント等の常時監視を行っています。測定項目中、光化学オキシダントが環境基準を達成しませんでした。なお、二酸化硫黄、一酸化炭素（CO）については、低い数値で安定しているため、2014（平成26）年度をもって測定を止めました。
- 主要幹線道路沿線の窒素酸化物調査では、測定期間中（20日間）の二酸化窒素の測定結果は、環境基準値以下の値でした。
- 水環境については、目黒川の3地点で年4回、水質を測定した結果、すべての項目で環境基準値を満たしていました。
- 自動車交通騒音（面的調査）では、特に夜間の環境基準達成率が低い状況でした。

<指標の評価>

😊：目標値を達成    😊：目標値に近づいている    😞：目標値に近づいていない    —：現状値を把握していない

指標項目〔環境指標〕	基準年度	基準年度末時点実績値	2015（平成27）年度末実績値	2021（平成33）年度数値目標	評価
大気環境					
大気汚染常時監視	22	4項目達成 (光化学オキシダント非達成)	3項目達成 (光化学オキシダント非達成)	環境基準の達成	😊
沿道の窒素酸化物濃度	22	全地点達成	全地点達成	全地点達成※1	😊
水環境（目黒川での水質測定）					
生活環境項目 (水素イオン濃度/溶存酸素/ 生物化学的酸素要求量/浮遊物 質量)	22	1地点で1回 BODが環境 基準値を超過	全月達成	全月達成※2	😊
衛生環境項目 (カドミウム/全シアン/鉛/ 六価クロム)	22	全月達成	全月達成	全月達成※2	😊
騒音（沿道の交通騒音測定－面的評価調査－）					
対象道路※3 (玉川/目黒/ 山手/駒沢/環 七/鮫洲大山/ 自由/淡島)	昼間	—	—	6地点中4地点 で達成	全6地点で 環境基準 の達成 ※4
	夜間	—	—	6地点中2地点 で達成	全6地点で 環境基準 の達成 ※4

※1 測定期間中（20日間）の平均値が、全地点（8地点）で環境基準値を満たしていること。

※2 全地点（3地点）、全月（年4回）で環境基準値を満たしていること。

※3 国土交通省平成22年度道路交通センサス（22区間）が対象。単年度の測定は、全22区間から偏りのないよう計画的に6区間（地点）を選定して実施している。

※4 前年度との比較で評価した。（2014（平成26）年度は、昼間は6地点中4地点で達成、夜間は6地点中3地点で達成）

##### 指標について

環境基本計画の進行管理を行うため、基本方針ごとに指標を設けています。数値目標を設定している環境指標は3段階（😊・😊・😊）、目指す方向を設定している取組指標は2段階（😊・😊）で評価しています。また、基本方針によっては、環境指標、取組指標のいずれかしかない場合があります。

### 1-1-1 大気環境の保全

目黒区では、東山中学校屋上に大気汚染測定室を設け、毎年、環境測定を実施しています。観測の結果、光化学オキシダントは、基準を達成しませんでした。

### 1-1-2 水環境の保全

河川の水質改善や臭気抑制を目的として、目黒川では、河川・水面の清掃、河床整正・浚渫<sup>2</sup>、クリーンアップ大作戦の実施などに取り組みました。また、呑川でも河川・水面の清掃に取り組みました。

### 1-1-3 有害物質による汚染の防止

有害物質を製造、使用又は処理する特定施設の跡地などにおいて、有害物質の漏えい等による地下水の汚染を防止するため、区では東京都による「環境確保条例」等に基づき、土壌汚染調査時に立入観察を実施しています。2015（平成27）年度は、4件の調査・確認を実施しました。

また、区では、アスベストを使用している建築物の実態把握と、建築物等を解体、改造、補修する際のアスベストの飛散防止対策徹底のため、解体・改修工事に際して作業方法の指導などを行っているほか、アスベストの含有等調査費用の助成や、中小企業に対するアスベスト含有建築材除去の融資あっせんを行っています。

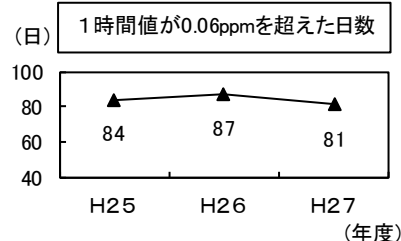
2015（平成27）年度の調査費助成は、3件でした。

### 1-1-4 身近な生活環境の保全

生活公害（騒音・振動・悪臭など）に係る相談・調整について、近年の公害相談は、騒音・振動、悪臭など典型7公害のほかに、アスベスト被害に対する不安や一般生活苦情（空き地の雑草、落ち葉）など、多岐にわたっており、解決までに時間を要する困難な案件も増加しています。

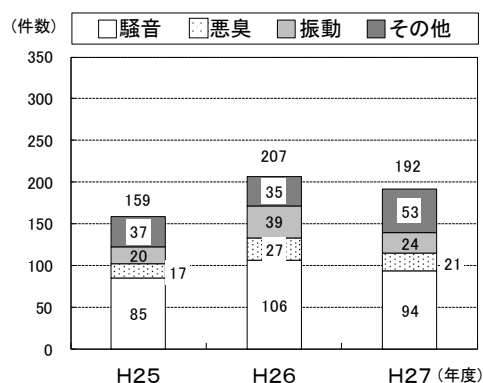
2015（平成27）年度は、192件の相談を受けました。相談内容を現象別に数えると内訳は、騒音94件、悪臭21件、振動24件、その他53件でした。

＜光化学オキシダント濃度が環境基準値を超えた日数の推移＞



＜川底の清掃＞

＜公害相談件数＞



## 1-2 みどりあふれるまちで暮らす

（本編P.20～25）

### 【2015（平成27）年度の成果】

- ・ 区内のみどりに関して、公園・ひろば等の面積は、2010（平成22）年度と比較して、1.04ha増加し、活動を行う登録団体数も17団体に増加しました。また、みどりのまちなみ助成により、屋上や壁面などに新たに緑化された面積も増加しました。
- ・ 生き物に関しては、いきもの発見隊への参加人数は減少したものの、いきもの气象台情報提供数は増加し、野鳥の年間確認種数は維持しています。

<sup>2</sup> 河床整正・浚渫（かしょうせいせい・しゅんせつ）：河床をならし、堆積した土砂を取り除くこと。

<指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2015 (平成27) 年度末実績値	2021 (平成33) 年度数値目標 (目指す方向)	評価
みどりの量						
緑被率※1		15	17.1%	17.3%	20% 2015 (平成27)年度	😊
公園・ひろば等の面積		22	49.01ha	50.05ha	52ha	😊
みどりの質						
公園等で活動を行う登録 団体数※2		22	91団体	108団体	100団体	😊
指標在来生物種の分布率		22	37%	43%	50%	😊
みどりのまちなみ助成緑化面積・延長(累計値)						
接道		22	9,581.12m	10,226.43m	増加	😊
屋上		22	3,726.55m <sup>2</sup>	4,847.12m <sup>2</sup>		
壁面		22	414.67m <sup>2</sup>	476.85m <sup>2</sup>		
いきもの气象台情報提供数		22	1,695件	2,333件	増加	😊
いきもの発見隊実施 (回数/参加人数)		22	2回/134人	2回/114人	継続	😊
野鳥の年間確認種数※3		22	52種	52種	維持	😊

※1 緑被率：一定地域の中で上空から見て芝や樹冠など緑で地上が覆われた面積が占める割合。水面や広場を含まない。

※2 純粋な植物の緑が対象。概ね5年に1度の測定のため26年度実績値

※3 公園活動登録団体とグリーンクラブ

※3 1～12月での集計

1-2-1 街なかのみどりの保全

区のみどりの約5割は、住宅地にあります。このため、住宅地のみどりの保全を図ることが大切です。区では、一定以上の大きさの樹木、生け垣、樹林を保存樹木等として指定し、維持管理費用の一部を助成しています。なお、2012(平成24)年度から休止していた新規指定を再開し、総数は2014(平成26)年度の611件から648件に増加しました。

<保存樹木等の指定状況>

種別	指定対象	指定数
保存樹木	幹周りが80cm以上又は高さが1.5m以上ある樹木	558本
保存生け垣	高さが0.9m以上で長さが2.0m以上ある生け垣	64件
保存樹林	300m <sup>2</sup> 以上の樹林地	26件



<グリーンクラブ>

区全体の面積の約7割は、民有地です。区では、民有地にみどりを増やすため、「みどりのまちなみ助成」を実施しています。2015(平成27)年度は、接道(道路沿い)194.16m、屋上・バルコニー105.56m<sup>2</sup>が助成により新たに緑化されました。壁面緑化の助成は、ありませんでした。

1-2-3 都市の生物多様性の確保

雑木林の管理作業や自然観察を通じて自然保護意識の向上を図ることを目的に、自然クラブを24回開催し、計745人の参加がありました。また、駒場野公園内の自然観察舎で体験型自然学習の推進を行っています。自然観察舎は13,647人の利用がありました。



<駒場野公園自然クラブ>

【2015(平成27)年度の成果】

- ・ スーパーズの<sup>3</sup>活動団体数は、33団体となり、2010(平成22)年度と比較し1団体増加しました。

<指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目〔取組指標〕	基準年度	基準年度末時点実績値	2015(平成27)年度末実績値	2021(平成33)年度数値目標(目指す方向)	評価
スーパーズの活動団体数	22	32団体	33団体	増加	😊
区内文化財めぐり開催(回数/参加者数)	22	7回/246人	6回/191人	継続	😊

1-3-1 きれいで住み心地よいまちづくり

2015(平成27)年度の中目黒スーパーズの活動実績として、1,145回、延べ12,319人が清掃活動に参加しました。

区では、環境美化推進団体にトングやガム取り棒など清掃用具の貸出しや啓発品の提供、さらに落書きの消去剤の貸出し1件を行いました。現在33団体が活動しています。

また、犬のふん放置防止などのマナー向上のため、啓発プレートの配布と犬同伴の実技講習を開催したほか、苦情などについての相談に対して対応しました。



<「we love meguro」清掃美化活動>

1-3-2 街並み景観の向上・歴史的文化的資源の活用

区内に残る文化財を守り後世に伝えていくため、調査や保護を行い、文化財マップ等の作成と普及活動を行っています。

さらに、すすめのお宿緑地公園内にある、区指定文化財の旧栗山家主屋を移築復元した「古民家」では、節句飾り、七夕まつりなどの年中行事を行い、伝統文化を学び継承する機会を提供しました。また、「東京9区<sup>4</sup> 文化財・古民家めぐり」の合同開催や、東京9区の古民家をめぐるスタンプラリーシートの配布など、他区と連携した取組みも推進しました。

<2015(平成27)年度取組み内容>

項目	内容	件数
遺跡調査	建設工事に伴う埋蔵文化財の試掘調査	5件
	立会調査	37件
	整理調査	4件
	発掘調査	2件
標識整備	文化財説明板	2件



<節句の鯉のぼり>

<sup>3</sup> スーパーズ：ボランティアによる清掃活動団体のことで、現在、中目黒スーパーズは中目黒駅周辺、権之助・大鳥スーパーズは目黒駅周辺で活動しています。

<sup>4</sup> 東京9区 文化財・古民家めぐり：東京9区とは足立区、北区、板橋区、江戸川区、江東区、練馬区、杉並区、世田谷区、目黒区の9区のこと

## 基本目標2 ライフスタイルの転換で環境を守りはぐくむ

### 2-1 ものを大切にできる地域社会をめざす

(本編P.29~35)

#### 【2015(平成27)年度の成果】

- ・ ごみ量は、53,861 tであり、2010(平成22)年度と比較して619 t減少しました。
- ・ リサイクル率は、高い水準(23区の中でトップ水準)を維持しているものの、2010(平成22)年度と比較して0.6%減少しました。資源回収量も786 t減少しました。
- ・ マイバッグ持参率は、8.9%増加しました。

#### <指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目	〔環境指標 取組指標〕	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2015 (平成27) 年度末実績値	2021 (平成33) 年度数値目標 (目指す方向)	評価
ごみ量		22	54,480 t	53,861 t	42,163 t	😊
リサイクル率		22	27.9%	27.3%	2016 (平成28)年 までに40%	😞
資源回収量		22	21,029 t	20,243 t	増加	😞
区民1人・1日当りのごみ量		22	570 g	544 g	減少	😊
区民1人・1日当たりの資源量		22	220 g	204 g	増加	😞
マイバッグ持参率		22	69.3%	78.2%	増加	😊

#### 2-1-1 ごみの発生抑制

ごみを作り出さないために、スマート・ショッピングを区内に広める「めぐろ買い物ルール」を2006(平成18)年度に決めました。「肩の力を抜いて、できるところからまずはスタート」をモットーにこの取組みを推進し、ごみを出さない、ものを大切にするライフスタイルへの転換を呼びかけています。



#### 2-1-2 円滑な資源循環

リユース・リサイクルを定着させ、「もったいない」意識の向上と環境への理解を深めてもらうことを目的に、リサイクル着物セールや子ども服の交換会を開催しています。各家庭に眠っている不用品が有効利用される場の提供にもなっています。

2015(平成27)年度は、リサイクル着物セール・子ども服の交換会を行いました。



<リサイクル着物セール>

#### 2-1-3 ごみの適正処理の推進

子どもを対象に、資源やごみの適正排出やごみの減量について、スケルトン清掃車やパネルなどを活用しながら講座を行う、環境学習を実施しています。

2015(平成27)年度は、区内の保育園や小学校等37か所に出張し、パネルや紙芝居等を活用した環境学習を実施しました。



<環境学習の様子>

## 【2015（平成27）年度の成果】

- ・ 温室効果ガス排出量は、1,179千 t-CO<sub>2</sub>eq であり、2004（平成16）年度と比較し20千 t-CO<sub>2</sub>eq 増加しました。
- ・ 区民の再生可能エネルギーへの関心は高く、太陽光発電システムの助成件数（累計）は、着実に増加しています。
- ・ 区内街路灯のLED設置数（累計）も、毎年度順調に増加しています。

## ＜指標の評価＞

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目 〔環境指標〕 〔取組指標〕	基準年度	基準年度末 時点実績値	2015 (平成27) 年度末実績値	2021 (平成33) 年度数値目標 (目指す方向)	評価
温室効果ガス排出量 (二酸化炭素)※1	16	1,159 千 t-CO <sub>2</sub> eq※2	1,179 千 t-CO <sub>2</sub> eq (2013(平成25)年 度実績値)	1,101 千 t-CO <sub>2</sub> eq※3 (2013(平成25) 年度目標値)	😞
太陽光発電システムの助成 件数(累計値)※4	22	95件	595件	増加	😊
区内街路灯のLED 設置数(累計値)	22	632基	4,257基	増加	😊
庁用車の低公害車導入台数	22	1台	3台	増加	😊
保水性舗装・遮熱性舗装の整備面積					
保水性舗装(累計値)	22	3,085m <sup>2</sup>	6,600m <sup>2</sup>	増加	😊
遮熱性舗装(累計値)	22	3,417m <sup>2</sup>	—※5	増加	-

※1 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」では、京都市議定書及び地球温暖化対策推進法の対象である6種類のガスのうち95%を占める「二酸化炭素」を対象としています。

※2 CO<sub>2</sub>eqとは「CO<sub>2</sub>equivalent」の略であり、エネルギー使用量を二酸化炭素の排出係数を用いてCO<sub>2</sub>相当量に換算した値。

※3 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の計画期間が2012（平成24）年度までであり、2013（平成25）年度に国のエネルギー政策や地球温暖化対策の動向を見据えながら、同計画を改定し目標値の見直しを行いました。また、2013（平成25）年度の数値が現在最新です。（出典 オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」特別区の温室効果ガス排出量（1990（平成2）～2013（平成25）年度）2016（平成28）年3月発行）

※4 住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置費の助成額を、太陽光発電システムの助成上限額で換算した件数です。

※5 保水性舗装と遮熱性舗装を隔年で実施し、2015（平成27）年度は保水性舗装を実施。

## 2-2-1 低炭素ライフスタイルの普及

省エネ行動を推進するため、講座等を展開しています。みんなで笑いながら省エネにトライする、めぐる笑エネトライには、22名の参加がありました。

また、区有施設において節電対策の一環として、2015（平成27）年5月1日から10月31日までの期間で室内温度を28度に設定し、軽装で仕事を行う「節電ピズ」を実施しました。

## 2-2-2 事業活動の低炭素化

太陽光発電の導入やエコカーの購入等、中小企業者の環境に配慮した設備導入を支援するため融資あっせんに優遇利率を適用しています。2015（平成27）年度は、太陽光発電が1件、低公害車の導入が4件ありました。



＜打ち水＞

## 2-2-3 ヒートアイランド現象の緩和

2015（平成27）年度は、田道ふれあい館で打ち水実施し、37名が参加しました。

# 基本目標3 環境を守りはぐくむ人づくり

## 3-1 人を育てて行動を促す

(本編P.41~49)

### 【2015（平成27）年度の成果】

- ・ 環境推進員養成講座を開催し、2015（平成27）年度の受講生29人のうち12人が修了生となり、着実に数値目標に向けて増加しています。
- ・ めぐる笑エネトライの参加者数は22名、4か月の取組みで前年比1%削減を達成したのは5名でした。一方、めぐるグリーンアクションプログラム（事業所版）の新規の認定は1件で、更新認定は20件でした。

<指標の評価>

😊: 目標値を達成    😊: 目標値に近づいている    😞: 目標値に近づいていない    -: 現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2015 (平成27) 年度末実績値	2021 (平成33) 年度数値目標 (目指す方向)	評価
環境推進員養成講座修了者数 (累計値)		22	63人	158人	263人	😊
環境保全活動参加経験率※1		24	5.8%	7.1%	2012 (平成24)年度 実績+10%	😊
環境に関する情報提供の満足度※2		24	11.0%	16.5%	2012 (平成24)年度 実績+10%	😊
めぐる笑エネトライの参加者数※3		27	22名	22名	増加	-
めぐるグリーンアクションプログラム (事業所版)の新規認定件数		22	1件	1件	増加	😞
区ホームページ※4 (もっと知りたい 環境のこと) アクセス数		23	697	201	増加	😞

※1 環境に関するアンケートの問「区で行っている環境保全に関する取組みへの参加経験」に対し、どこかに参加したことがあると答えた人の割合。

※2 環境に関するアンケートの問「環境に関する情報提供の満足度」に対し、満足及びやや満足と答えた人の割合。

※3 めぐる笑エネトライは、めぐるグリーンアクションプログラム普及版を改訂した事業。

※4 <http://www.city.meguro.tokyo.jp/keyword/learn/kankyogakushu/index.html>  
トップページ>キーワードから知るめぐるのこと>学ぶ>もっと知りたい環境のこと

### 3-1-1 環境教育・学習の推進

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザにて開催しました。2015（平成27）年度に開催した講座・講習会は延べ46講座、3,105人の参加がありました。



<エコプラザ 昔遊びコーナー>

### 3-1-2 環境情報の提供

6月の環境月間に総合庁舎西ロビーで環境パネル展を行い、省エネ活動・ポイ捨て防止の啓発や、環境推進員などをご紹介しました。また、ゴーヤの苗配布やエコドライブ疑似体験を実施しました。

エコプラザニュースなど広報紙の充実を図り、さまざまな機会、媒体を活用して環境情報の発信力を高めます。

<目黒区エコプラザ情報室の利用状況>

利用項目	登録人数 /利用回数
新規利用登録数	151人
活動室利用件数	463件
図書貸出件数	166件
不用品情報登録件数	345件
不用品のあっせん成立	70件

### 3-1-3 人材や活動団体の育成

環境推進員養成講座を開催し、環境保全活動のリーダーを育成しました。29人の受講生の中、12人が修了生となりました。

### 3-1-4 事業者の取組みの促進

めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進し、認定会を4回行いました。2015（平成27）年度は新規の認定が1件、更新認定が20件ありました。

## 3-2 人のつながりを育てる

（本編P.50～53）

### 【2015（平成27）年度の成果】

- ・ 目黒区エコプラザ登録団体数は、6団体で、2010（平成22）年度より減少しました。
- ・ 地球温暖化対策地域協議会は2回、環境審議会は3回と継続的に開催しています。

#### <指標の評価>

😊：目標値を達成    😊：目標値に近づいている    😞：目標値に近づいていない    -：現状値を把握していない

指標項目	環境指標 取組指標	基準 年度	基準年度末 時点実績値	2015 （平成27） 年度末実績値	2021 （平成33） 年度数値目標 （目指す方向）	評価
目黒区エコプラザ登録団体数		22	8団体	6団体	38団体 （3団体/年）	😞
地球温暖化対策地域協議会開催回数		22	2回	2回	継続的な開催	😊
環境審議会開催回数		22	4回	3回	継続的な開催	😊

### 3-2-1 地域の環境保全活動の活性化・ネットワーク化

2015（平成27）年12月にエコライフめぐろ推進協会と共催で「エコまつり🌱めぐろ2015」を開催しました。参加団体数は33団体、来場者数は約850人でした。

また、地域で、顕著な環境保全活動を継続して行っている区民、事業者及び団体等を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」について、2015（平成27）年度は、1団体を顕彰しました。



<エコまつり🌱めぐろ2015>

### 3-2-2 区民・事業者・区のパートナーシップの構築

協働による環境保全活動の推進に向けて、環境審議회를3回開催し、各種計画改定の審議や目黒清掃工場建替事業に伴う環境影響評価調査計画書の区長意見(案)に対する意見聴取等について報告を行いました。また、地球温暖化対策地域協議会を2回開催し、目黒区地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況を確認し、目標に向けた効果的な取組みについて検討しました。

### 3-2-3 地域を越えた広域的な連携

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策におけるカーボン・オフセット<sup>5</sup>を展望した事業の一つとして、2010（平成22）年度友好都市である宮城県角田市の四方山の一角に創設しました。2015（平成27）年度は、めぐろエコの森に植樹した樹木を生育させるために、生育の支障となる下草等の刈り払いを2回行いました。さらに、獣類による被害を防止するための忌避剤散布を行いました。



<めぐろエコの森>

<sup>5</sup> カーボン・オフセット：自らの温室効果ガス排出量を認識し、削減努力を行い、どうしても削減できない排出量をほかの場所での排出削減・吸収量等を購入すること又は活動等を実施することにより、その排出量の全部または一部を埋め合わせること。